



未来を夢見て Season3

2022/9/16 No. 158

「自信をもっていこうよ！」

菅原淳先生の研究授業を見せていただくのは、多分平成29年、附属小で御一緒に以来だったように思います。

まず、黒板。磨き上げられた黒板に本時の授業の内容に関係のないものは1つありません。きれいな黒板はあのイチローが道具を大事にするのと同じ。また、余計な掲示物を黒板に添付しないのは、授業中、子どもたちの目が黒板に集中するように心掛けた附属小の教えでもありました。導入、参観することはできませんでしたが、私が参観していた時間帯は写真のような4人グループでの机の配置にしていました。感心したのはあくまで、授業にはあくまで個人で参加し、淳先生の指示があるときだけ相談できることに子どもたちが徹しているところでした。

授業は、円の面積の求め方の応用問題です。子どもたちが「求め方」に絞って考えることができるように、四角や三角等の図形を上手に使って進められました。もちろん正確に計算して正しい面積を求めることができれば言うことありませんが、大切なのは考え方。子どもたちのつぶやきやひらめきを表情から上手に見取って、とにかく子どもを前面に出すことを心掛けた授業でした。そんな様子から今日までどのように淳先生が学級づくりをしてきたのか、よくわかる子どもの姿で嬉しくなりました。

あくまで私見ですが、私は小学校の45分の授業は、

- ① 生涯を通じて学ぶ土台づくりする時間
- ② 各教科のねらいに迫る時間

の2つ時間から成り立っているように思っています。その割合は1年生から6年生まで変わっていきますが、小学校では決して①がなくなることはありません。

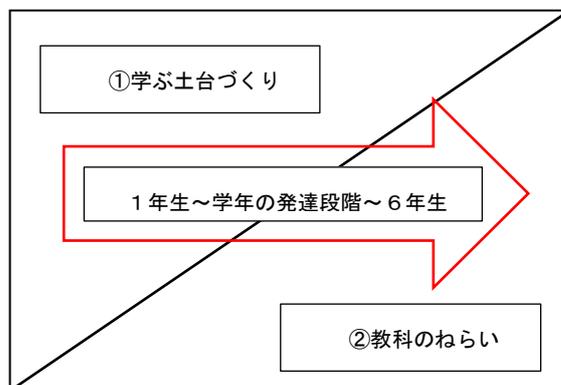
今日の淳先生の授業でも、友だちの発表に拍手をしたり、一人一人の考えをたくさん褒めたり、淳先生が子どもたちの学習への意欲を大事にしていることが随所に感じられました。

終盤、子どもたちが考えに煮詰まった時、発表を躊躇しはじめた時、投げかけた一言

「自信をもっていこうよ！」

菅原淳先生だから言える一言ですね。

台風14号が心配ではありますが、小野小の新たな風を感じた算数の授業でした。



(文責：手代木)